

雑司が谷公園
のホームページ

<https://zoshigaya.club/zoshigayapark.html>



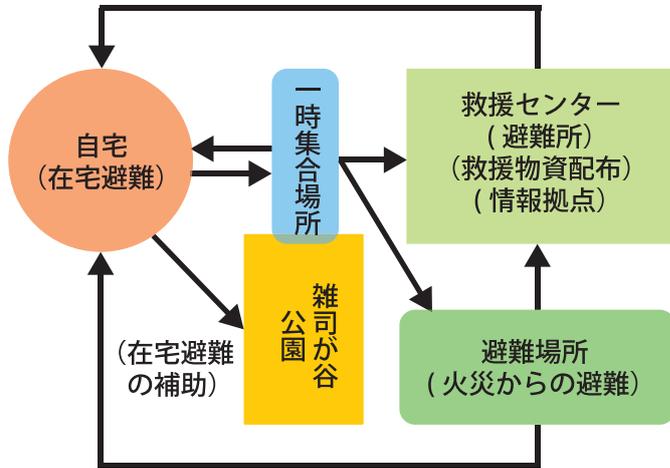
災害時の雑司が谷公園

豊島区の避難計画

今年は正月早々に能登で大地震があり、地震はいつ起こるかわからないと、改めて思い知らされました。

さて、みなさんは豊島区であのような地震が起こった時にどうするか、考えたことがありますか。

豊島区では、大地震の時の避難計画を定めています。まず、大地震が起こっても、自宅の被害が少ない場合は、在宅避難することが原則となります。万が一自宅が危ない時には避難することになります。最初に行くのは「一時(いつか)集合場所」です。これは町会ごとに決められています。一時集合場所では町会の防災部などの人から災害の状況を聞き、必要に応じて「救援センター」に避難します。救援センターは小中学校が指定されており、町会別に行く場所が決められています。もし、大火災が起こったら「避難場所」に避難します。この地区では「雑司が谷墓地」と「学習院」が避難場所に指定されています。



雑司が谷公園の整備

雑司が谷公園はもともとは高田小学校という救援センターでした。それが公園になったため、地域にとっては災害時に避難するところが少なくなっていました。そこで公園をつくる時に、防災機能のある公園を整備してほしいと要望し、丘の上テラスや様々な防災設備を整備することができました。

運営協議会では、雑司が谷公園の防災マニュアルを作成し、災害時に有効に利用できるように検討してきました。その中で、雑司が谷公園の近隣の3町会(雑司が谷二丁目町会・柳下会・東目白自治会)は雑司が谷公園を一時集合場所としています。

災害時の役割

丘の上テラスは防災設備は充実しているものの、区民を収容できるほどの面積がありません。災害直後には一時集合場所として、情報を伝達する場所となります。そして、在宅避難となった場合には、災害物資の供給や炊き出し、トイレや太陽光発電による電気の供給・災害用電話の提供などで、地域の皆さんを支える施設となります。



雑司が谷・南池袋地区の避難場所など

ぞうこう防災 2024

～楽しみながら学ぶ防災～

楽しみながら学ぶ防災をテーマに「ぞうこう防災2024」を今年も開催します。地域の8町会が合同で行う防災訓練です。防災体験ができるコーナーや防災クイズラリーなど盛りだくさんの内容です。どなたでも参加できますので、お誘い合わせの上、おいでください。

日時：令和6年11月24日（日）

10：00～12：00

会場：雑司が谷公園

及び 丘の上テラス

防災クイズラリー

クイズに答えて
スタンプを集めよう
おみやげもあるよ



今年は
やきいもを
つくります！

かまどベンチ体験



炊き出し訓練

災害用非常食を
体験します

救護体験



大切な人の
命を守ることが
できるかな

いろいろな体験が
もりだくさん

災害時にも
電話が
使えるように

災害用電話体験



ポンプを使って
放水に
チャレンジだ

千登世橋中の
皆さんが
参加します



初期消火訓練

煙体験

君は
煙の迷路から
逃げられるか



震度7の地震に
耐えられるのか

起震車体験



- 主催：ぞうこう防災実行委員会
- 参加団体：地元8町会（青葉会、雑司が谷一丁目町会、雑司が谷一丁目東部町会、雑司が谷三丁目町会、雑司が谷二丁目町会、東目白自治会、柳下会、東目白千登世町会）
- 協力：豊島区、豊島消防署、豊島消防団第五分団・第七分団、目白警察、雑司が谷ひろばくらぶ、千登世橋中学校ジュニアスタッフ、日本女子大薬袋研究室、スターツCAM株式会社
- 事務局：雑司が谷公園運営協議会